

あい基金フォーラム2019  
「地域の未来を創る女性たち」

# 新しい参加型寄付者プログラム “あい基金ギビング・サークル” のご案内

2019年3月13日  
公益財団法人パブリックリソース財団



あい基金



あい基金

女性が未来をつくる

- 日本初 “女性のための草の根基金”
- 女性の経済的自立
- 女性からの社会経済システムの提案
- 女性の社会貢献、遺贈の受け皿に



あい基金

女性が未来をつくる

# 「あい基金」が目指すもの

## あい基金の 役割

- ✓ 立場の異なる女性たちが、それぞれの立場を超えて、共通の関心に対し、寄付を通じて力を合わせて立ち向かう場
- ✓ 寄せられた寄付をもとに、地域社会の課題解決を目指しながら、女性がいきいきと働く“生業”の場づくりや女性の潜在的な力を発揮できる取り組みを実現するNPOや社会的企業などへの資金提供を行う

## Our Focus

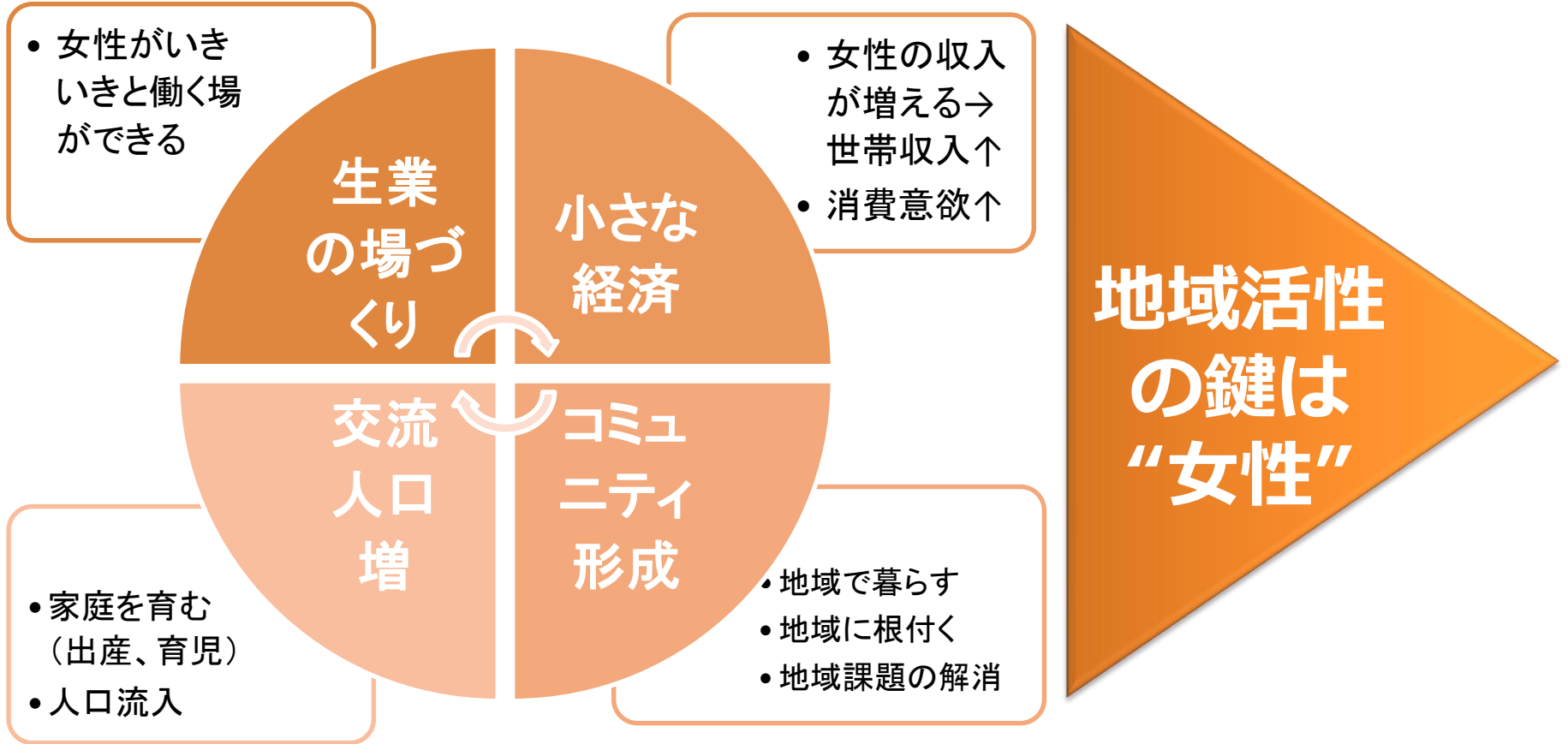
- ✓ 東日本大震災等の被災地にフォーカスし、超高齢社会、子どもの貧困、地域社会の疲弊等、様々な社会問題に真正面から向き合い、地域社会の課題解決に取り組む女性を応援する
- ✓ 女性の潜在的な力を発揮できる身近な取り組み、新しい視点をもったイノベーティブな取り組みを取り上げ、育み、応援し、広める



あい基金

女性が未来をつくる

# 「あい基金」のアプローチ



“女性がリードする地域活性化”を応援



あい基金

女性が未来をつくる

# 「あい基金」これまでの活動

## あい基金の規模

- これまでのご寄付：約860万
- 寄付者数：100名（個人・企業含む） ※2018年12月末時点

## あい基金助成（2016年度より）

- 2016年度より開始。最大2年間助成。1団体につき年間助成金額50万円。 これまでに、計3団体に助成実施。

- ◆ 2016年度第一期助成先 採択：2団体  
株式会社WATALIS, 特定非営利活動法人ウィメンズアイ
- ◆ 2017年度第二期助成先 採択：1団体  
インディゴ気仙沼
- ◆ 2018年度第三期助成先 採択：1団体（予定）



あい基金

女性が未来をつくる

# あい基金 既存寄付者から頂いた声

## 寄付者から頂いた声....

- ✓ 支援する先を自分たちで決めたい！
- ✓ 寄付がどのように役立っているのか、現場を知りたい！
- ✓ 寄付者同士で交流がしたい！

学びと成長の機会を得られる  
新しい参加型プログラム“あい基金ギビング・サークル”  
の始動



あい基金

女性が未来をつくる

# 新しい参加型プログラム “あい基金ギビング・サークル”の魅力

## 寄付者参加型 + Learning journey

- ✓ 毎年決められた会費を集め、メンバーと一緒に話し合い、自ら支援先を決める
- ✓ 一人で寄付するよりも、集まることでより大きな寄付のインパクトを生む
- ✓ 多様なメンバーが集うプログラムを通じて、社会課題について学び、どのような解決策があり、どのNPOを支援すべきかについて、経験を深める
- ✓ 実践者である女性リーダーとの交流を通じて、自ら社会に目をひらき、成長していく
- ✓ 地域で頑張る女性や地域の人たちとともに、地域を変えていくプロセスにかかわることができる
- ✓ 同じ思いをもった寄付者同士の交流ができる



あい基金

女性が未来をつくる

# あい基金ギビング・サークルの 会費制度について

参加費 (*)	特典					
	メル マガ	活動報告書 (年1回)	授賞式・ 活動報告会 (年1回)	セミナー・ 交流会 (年1 回)	現地視察 (助成候補 団体訪問)	助成先 投票権
I Club member 一口1 万円 /年間	●	●	●	-	-	-
I Club GOLD member 一口3 万円 /年間	●	●	●	●	-	-
I Partners 一口10 万円 /年間	●	●	●	●	●	●

\*参加費：あい基金へのご寄付として、20%はギビング・サークル等の運営費、80%は助成のために活用させていただきます。なお、現地視察については別途実費がかかります。





あい基金  
女性が未来をつくる

# あい基金ギビング・サークル I Partners 「助成先選定と投票プロセス」

新規助成  
募集

書類審査  
(事務局)

助成候補  
団体訪問  
(2泊3日)

助成先候補  
団体の選出  
(半日)

最終審査  
(審査会)

助成先  
決定

➤ 助成先候補団体を現地訪問



➤ 各I Partnerが1票の投票権をもって候補団体を選出





あい基金  
女性が未来をつくる

“女性が未来をつくる”  
ぜひ、ご賛同をお願いいたします！

